



げろ

議会だより



TOPICS

- 令和8年度予算審査報告
- 3月定例会報告(審議結果)・常任委員会報告(審査結果)
- 一般質問(内容紹介)
- 民生教育まちづくり常任委員会 管外視察報告、特別委員会報告
- 「議会への意見・提案箱」へのご意見等と対応状況
- 議会基本条例の達成状況検証、6月定例会日程

No. 88

令和8年 5月1日

【子育て世帯を応援する「入園用品」を贈呈】

表紙
の
写
真

物価高騰が続く中、子育て世帯の経済的負担を軽減するための新たな支援が始まりました。令和8年4月6日、たけはらこども園の入園式にあわせて「入園用品贈呈式」が行われ、年少児2クラス21組の親子に、園生活で活用できる用品一式が贈られました。贈呈されたのは、地元企業製の名前入り長靴、カラー帽子、自由画帳、お便り帳、名札の5品。「園でも家庭でも楽しく使えて、思い出に残るものを」との思いで選ばれました。新しい道具を手に、楽しい園生活がスタートしています。

令和8年度 下呂市当初予算

「進化するインフラ・深化する子育て支援～未来への基盤を構築する予算～」と位置付けられ、子育て支援、生活基盤整備、人材育成という3つの柱を中心に、下呂市の将来を見据えた明確な方向性が示されています。

一般会計 231億7,000万円 (福祉や教育、まちづくりなど幅広い市民サービス)	6億2,000万円 (対前年度2.7%増)	➔
特別会計 83億4,083万円 (国民健康保険、介護保険など特定事業に係る7会計)	△5,321万円 (対前年度0.6%減)	➡
企業会計 63億4,715万5千円	△3億3,516万1千円 (対前年度5.0%減)	➡
合計 378億5,798万5千円	2億3,162万9千円 (対前年度0.6%増)	➔

予算規模の大きい事業等

歳入のポイント		歳出のポイント	
地方交付税	81億3,000万円	基金積立	
市 税	46億7,955万円	次期クリーンセンター整備基金	3億9,771万円
宿泊税	1億9,528万円	市内JR駅整備基金	3億 96万円
入湯税	1億5,054万円	第2回下呂市芸術祭開催に向けた基金	5,030万円
基金繰入金	23億1,516万円	下呂温泉賑わいファンド事業補助金(温泉街街歩き起点整備)	2億円
ふるさと応援基金繰入金	6億8,000万円	浄郷苑基幹的設備改良事業(設計施工業務)	1億3,375万円
財政調整基金繰入金	5億円	第1回下呂市芸術祭開催経費	1億1,427万円
ふるさと基金繰入金	4億3,596万円		
市 債	12億5,080万円 (うちハード11億5,480万円)		

議会からの「市政の課題に対する提言書」関連事業の予算状況

提言書の項目抜粋

- 移住定住の促進により街の活性化を
- あさぎりサニーランド移転新築の早期実現を
- 猛暑から市民を守るために
- 市民の生活の足となる公共交通の確保・実現に向けて
- 根拠に基づいた実のある防災・減災対策を

① 体験移住プログラム



移住体験ツアーとして特に移住の可能性が高い方を対象に「空家見学」「移住体験」「農業体験」等を実施

② サニーランド移転新設事業



具体化に向けた助走期間として民間活力導入の可能性調査の実施、造成工事のための現地測量と地質調査、詳細設計

③ 猛暑対策



空調設備整備事業として国庫補助等を活用し、特別教室の空調設備整備(下呂小・竹原小・金山小)、屋内運動場空調整備実施設計(小坂小・萩原南中・下呂中)

④ 公共交通の確保・実現



デマンドバスの運行エリアを拡充(デマンド竹原(御殿野・宮地から下呂市街地へ)濃飛バス加子母線のバス停から離れた「交通空白地」を解消し、移動手段を確保

⑤ 防災・減災対策



防災行政無線の操作システムを刷新します。この更新により、放送内容を防災アプリ「げる情報ナビ」を通じて文字と音声でお届けします。お手持のスマートフォンで確実に情報を確認できるようになります。

下呂市第三次総合計画(基本計画)の分類ごとに 予算決算常任委員会での話し合いの内容の一部をご紹介します

※話し合いがされた主な項目と分類ごとに質疑の状況を紹介しています。

※★印のついた項目は、7ページで詳しく内容を紹介していますので、あわせてご覧ください。

1 心豊かで健康に暮らせるまち(健康・福祉)

- サニーランド移転の調査・設計の内容
- クアオルト健康ウォーキング参加人数の拡大に向けた取り組み
- ★高等学校等通学費等支援交付事業の拡充と申請手続き簡略化
- 通所・訪問介護事業の安定運営を支援する移動距離・送迎に係る補助の内容
- ★市立金山病院の医業収益と繰入金

問 小中学校の給食費無償化と保護者の負担軽減策の内容は。
答 小学校は通年無償化し、国交付金と市費で全額を賄います。中学校は4～6月分を無償とし、7～3月分についても、300円の保護者負担額の半額を市が助成します。

2 自然環境を守るまち(自然・環境)

- 省エネ対策としてのLED化支援
- LED化による公共施設の電気料削減
- 中山浄化園(し尿処理施設)の省電力化と民間活力導入
- 浄郷苑(火葬場)設備改良の内容と実施時期
- 御嶽山の国定公園化に係る修繕等整備内容

問 こみカレンダーの外国人や若年層向けの電子化は。
答 現在は「下呂情報ナビ」で公開中ですが担当部門と協議し、より利便性の高いシステムの導入について、前向きに検討を進めていきたいと考えています。

3 人と文化を育むまち(教育・文化)

- ★下呂 Art Discovery 2026の周遊バスルート・作品の恒久設置等
- 学業支援員等による外国籍の児童生徒への対応
- 文化財活用のためのワイヤレスガイドと街歩きマップの内容
- 小中学校の特別教室と屋内運動場の空調設備整備の方向性

問 アートプロジェクトにおける地域おこし協力隊の活動の展望は。
答 任期中は芸術祭の準備や地域資源の掘り起こしを行い、将来的には芸術祭の運営を担う人材として活躍されることを期待しています。

4 みんなで地域づくりに取り組むまち(地域づくり)

- 移住相談イベントと体験ツアーの拡充内容
- 多文化共生への新たな取り組み
- 女性活躍推進に向けた取り組み
- 地域運営組織の運営・活動支援の内容

問 地域団体向けクラウドファンディングの予算や予定は。
答 初年度となる令和8年度内に、事業募集から実施までを行うモデルケースを構築します。事業の実施期間の確保が課題となりますが、予算の繰り越しなど議会と相談し、柔軟な対応を検討していきます。

5 安心安全に暮らせるまち(防災・防犯)

- 避難者主体の防災訓練と外部団体との連携
- 下呂市防災土育成事業の受講に対する交通費助成
- 消防詰所集約の方向性
- 耐震性防火水槽の新設と維持管理
- 防災行政無線と防災アプリの連携

問 はしご車分解整備の頻度や期間、不在時の火災対応は。
答 令和8年度に「屈折はしご自動車等の安全基準」に基づき、機能及び安全性を確保するため、7年目の分解整備点検を3～4カ月かけ実施します。その後は5年以内に行い、常に車両の安全性能を保ちます。不在時は高山市・中津川市消防本部と連携し体制を確保します。

6 暮らしを支える生活基盤が整ったまち(基盤整備)

- JR下呂駅周辺の基本計画策定への手順
- 下呂温泉街賑わいづくりファンドの方向性
- デマンドバスの見直し、デマンド竹原新設
- ★空き家自主解体への支援

問 下水道事業ダウンサイジングの対象施設と削減効果は。
答 竹原処理区の汚泥脱水機を能力半分で更新し、更新費を約1億円から3千万円へ大幅に削減します。今後も機器更新のために精査し、適正な運用に努めます。

7 行財政運営が市民に信頼されるまち(行財政運営)

- 行政手続きのオンライン化
- システムのクラウド化と職員の働き方
- 公共施設適正化の方向性
- 職員の適正配置の取り組み
- 人材確保・育成の取り組み

問 デジタル化によるコスト削減効果とシステムの使い分けは。
答 デジタル通知やPCによる事務作業の自動化により、年間約600万円相当のコストを圧縮します。システム面では、セキュリティを重視し、庁内の電子承認に活用するものと、市民からのオンライン申請など外部とのやり取りに活用するものを目的別に使い分け、効率化を図ります。

8 賑わいを生む産業が盛んなまち(産業経済)

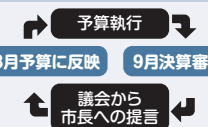
- 宿泊税の活用方針
- 新規就農者の定着と農地確保の取り組み
- 獣害防除・水産業振興への支援内容
- 湯めぐり館・観光案内所の直営化に伴うコストとプロモーション
- 市公式オンラインショップ「岐阜県下呂市湯けむりテラス」の内容

問 オンラインショップに不慣れな事業者への支援策は。
答 地元事業者への事務委託と専門家の助言で支援します。ページ作成や受注管理は地元運営事務局が代行し、事業者の負担を軽減します。さらに、ネット販売(EC)専門家が直接助言を行う体制を整え、ネット販売を強力に後押しします。

予算審査は以下のポイントに着眼して行いました

- ①予算が効率的かつ効果的に活用されているか。
- ②優先度の高い政策に重点的に予算配分されているか。
- ③持続可能な財政運営となっているか。
- ④「市政の課題に対する提言書」に掲げた項目が、新年度予算にどのように反映されているか。

予算決算審査サイクル



3月定例会の報告

2月25日から3月24日までの28日間において、令和8年第1回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、国の交付金事業に係る繰越明許費、降雪や低温による除排雪・凍結防止剤散布経費及び第51回衆議院議員総選挙・第27回最高裁判官国民審査を執行するための経費等に係る補正予算の専決処分の承認、人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問、下呂市特別名誉市民表彰に係る同意、条例制定・改廃、一般会計、7特別会計、4企業会計の補正予算などについて可決しました。

また、最終日には、条例改正、財産の取得、令和7年度の一般会計補正予算、令和8年度の各会計当初予算などについて可決しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。
(右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます)



議 案 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について(令和7年度下呂市一般会計補正予算(第13号))	—	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(令和7年度下呂市一般会計補正予算(第14号))		
専決処分の承認について(令和7年度下呂市一般会計補正予算(第15号))		
人権擁護委員候補者の推薦について【推薦者2名】	—	適任(全会一致)
下呂市特別名誉市民表彰につき同意を求めることについて【表彰者2名】	—	同意(全会一致)
下呂市農業委員会委員の任命について【任命者1名】	—	同意(全会一致)
下呂市職員の給与に関する条例及び下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	—	可決 (全会一致)
下呂市第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について		
令和7年度下呂市立金山病院事業会計への繰出について	予算決算 常任委員会	可決 (全会一致)
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第16号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第5号)		
令和7年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第4号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第6号)		
令和7年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市水道事業会計補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市下水道事業会計補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第4号)		

○（引き続き）全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
財産の取得について	民生教育 まちづくり 常任委員会	可 決 (全会一致)
下呂市過疎地域持続的発展計画の策定について		
下呂市一般住宅の設置等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市基金条例の一部を改正する条例について		
下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設条例の一部を改正する条例について		
下呂市公民館条例の一部を改正する条例について		
下呂市国民健康保険診療所設置条例の一部を改正する条例について		
下呂市国民健康保険病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について		
下呂市介護保険条例の一部を改正する条例について		
下呂市障がい者支援施設設置条例を廃止する条例について		
下呂市子育て・保育ステーション条例の一部を改正する条例について		
下呂市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について		
下呂市乳児等通園支援事業の利用者負担額に関する条例について		
下呂市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について		
下呂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
下呂市児童福祉金支給条例を廃止する条例について		
下呂市火葬場・斎場条例の一部を改正する条例について		
下呂市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について		
令和8年度下呂市立金山病院事業会計への繰出について	総務産業 建設常任 委員会	可 決 (全会一致)
下呂市職員定数条例の一部を改正する条例について		
下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市条件付採用期間中の職員の分限に関する条例について		
下呂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		
下呂市観光交流センター条例の一部を改正する条例について		
下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		
下呂市下水道条例の一部を改正する条例について		
令和8年度下呂市水道事業会計への繰出について		
令和8年度下呂市下水道事業会計への繰出について	予算決算 常任委員会	可 決 (全会一致)
令和8年度下呂市一般会計予算		
令和8年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算		
令和8年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算		
令和8年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算		

○（引き続き）全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
令和8年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	予算決算 常任委員会	可決 (全会一致)
令和8年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)予算		
令和8年度下呂市下呂財産区特別会計予算		
令和8年度下呂市学校給食費特別会計予算		
令和8年度下呂市水道事業会計予算		
令和8年度下呂市下水道事業会計予算		
令和8年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算		
令和8年度下呂市立金山病院事業会計予算		

○全会一致で可決した議案【市長提出議案（最終日追加提出）】

議案名	付託委員会	審議結果
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第17号)	—	可決(全会一致)

○全会一致で可決した議案【委員会提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
下呂市議会委員会条例の一部を改正する条例について	—	可決 (全会一致)
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市議会基本条例の一部を改正する条例について		
下呂市議会会議規則の一部を改正する規則について		

3月定例会の議案審議の詳細【全会一致で可決】

(市長提出議案：予算決算常任委員会審査付託)

令和7年度下呂市一般会計補正予算(第16号)



【主な補正内容】

- 訪問介護推進事業
不採算地域における訪問介護事業所への補助金増額 2,087千円
- 災害対策諸経費臨時
市内小中学校児童生徒のための防災マット購入費 3,410千円
- (歳入)ふるさと寄付金
4月から12月までの収入確定分による増額 707,213千円

令和7年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第4号)



【主な補正内容】

- 患者数の減による入院収益の減額 △120,687千円
- 一般会計繰入金(補助金)の増額 100,000千円

問：現状の認識と今後の収支改善の見通しは。
答：病棟の一部削減に伴う入院収益の減少等のなかで、病院運営の強化を最優先課題とし、新院長のもと、市民に信頼される病院経営の実現に向けた抜本的な改革と、持続可能な地域医療体制の構築に全力を注いでいきます。

★二次元コードから3月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細
令和8年2月25日
(定例会初日)



議案審議の詳細
令和8年3月24日
(定例会最終日)



予算決算常任委員会

3月16日から19日の4日間、委員会を開催し、一般会計、7特別会計、4公営企業会計の令和8年度当初予算について審査し、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《地域の魅力発信と活性化を目指すアートプロジェクト》

（下呂アートディスプレイ2022）
6 「芸術祭」開催に伴う運営および準備経費を計上）

問 芸術祭に対する県の支援の見通しと、想定する来場者数および経済効果は。

答 知事および関係部長との面談を通じ、後援や補助金の交付について前向きな意向を確認しています。作品鑑賞者としては、延べ3万人以上を目標に掲げています。また、第1回目となる令和8年度をトライアルとして位置づけ、着実に実施し、「瀬戸内国際芸術祭」や「越後妻有大地の芸術祭」のように試行錯誤を重ねながら、下呂市独自の形を作り上げていきたいと考えています。併せて、経済効果の算定についても、適切な検証を行い、しっかりと取り組んでいきます。

《高校生等への通学支援》

（高校生等のJ・R・バスによる通学定期代、その他の通学手段、および下宿を利用した通学に対する支援交付金を計上）

問 市内唯一の高校である益田清風高校への入学を促す効果は。

答 通学定期相当額から、自己負担として市内高校等へ通学の場合は3万円、市外高校等の場合は6万円を控除した額を交付する制度であり、制度上では、市内高校へ通う方が経済的負担において有利となる設計にしています。
なお、益田清風高校の魅力向上に向けては、通学費支援とは別の枠組みで施策を展開していく考えです。



《老朽化した空き家等の除却支援》

（空家等対策協議会開催経費のほか、空き家所有者が自ら実施する建物解体処分を支援する補助金を計上）

問 国の補助制度を活用した「不良空家等除却支援事業」に加え、新たな除却支援事業を創設した経緯は。

答 さらなる空き家の除却を促進するため、国の補助要件を満たさず、

活用することもできない中間層に該当する空き家を対象とする新たな補助制度「老朽空家等除却支援事業」を創設しました。この中間層に該当する空き家は、あと数年経過すると不良空家となる恐れがあり、

そうなる前に所有者自らがこの補助金を活用して早めに除却していただくことを目的としています。この補助制度は、建築士の資格を保有する市職員、または空家等対策協議会委員の建築士が、空き家の損傷状況を判定し、



《市立金山病院の医業収支について》

（病院経営活動に伴う医業収益として、入院は1日平均患者数43人、外来は1日平均患者数132人を見込み、総額10億1101万6000円を計上、それに対する医業費用は12億9384万9000円を計上）

問 令和7年度3月補正予算における入院患者見込み1日平均23人に対し、令和8年度予算では43人となつ

ているが、大きな差異が生じている理由は。また、これが予算上の目標値であるならば、それを達成するための具体的な方策は。

答 令和8年度予算における1日平均入院患者数43人は、病床稼働率80%以上という病院経営の適正水準を確保し、市からの繰入金を最大限抑え、地域医療を継続するためにクリアすべき最低限のラインとして、院内の目標として掲げているものです。現状との乖離は大きいですが、訪問診療、訪問看護の積極的な推進による在宅医療の強化と、入院から在宅までの一貫したケア体制の構築により、病床の効率的運用を図ることで、目標達成を目指したいと考えています。なお、それでも改善が見込めない場合には、県立下呂温泉病院との連携をさらに強化した上で、病院機能の適正化や規模縮小も視野に検討を進めていく方針です。



▲市立金山病院

託審付
内容の審査
動画を共有
サービス
YouTubeにて
視聴できます。



民生教育まちづくり 常任委員会

3月12日、定例会初日に付託された20議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市一般住宅の設置等に関する条例の一部を改正する条例について》

（市が設置する一般住宅の入居者資格について拡充を図り、移住施策に活用するため、当該条例の一部を改正するもの）

問 移住者にとって使いやすくなる上での必要な条例改正であるが入居する条件は。

答 市内に住民登録をしている、または住民登録をこれから行うことを条件としています。また、移住のためし以外にも、短期的に市内で仕事をするための単身赴任といったようなニーズに対応するため、移住を希望するものというような扱いを加えています。



《下呂市基金条例の一部を改正する条例について》

（下呂市介護保険基金の活用範囲を拡大するとともに、下呂市ふるさと基金を廃止するため、当該条例の一部を改正するもの）

問 この基金の見直しによって、今まで一般会計の中でやっていた事業が、介護保険の事業となるのか。

答 今まで一般会計で行っていた訪問介護事業への補助金交付などを市町村独自事業として介護保険特別会計で実施することになります。それに伴い他の介護保険事業と同様に基金活用できるよう改正するものです。



《下呂市児童福祉金支給条例を廃止する条例について》

（国・県の制度変更を踏まえ、市の施策を再構築する中で、重複整理と空白の解消を図り、地域実情に即した負担軽減を図る新制度へ移行するため、特定世帯を対象とした当該条例を廃止するもの）

問 既存の就学援助制度が拡充され、実際の必要額に追いつくという説明があったが、具体的にどのくらい増額されるのか。

答 小学校への入学準備資金が現在の5万7060円から7千円程度増額され、中学生については6万3千円から1万8千円の増額となります。



総務産業建設 常任委員会

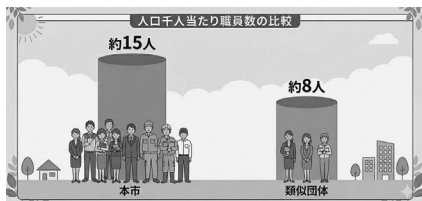
2月25日、定例会初日に付託された10議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市職員定数条例の一部を改正する条例について》

（令和8年度組織再編等に伴い職員定数を改めるため、当該条例の一部を改正するもの）

問 類似団体と比べ職員数が多い現状を踏まえ、今後の職員の定数適正化計画をどう進めるのか。

答 本市の人口千人当たりの職員数は15.31人と、高山市（8.79人）に比べ多い状況にあります。現在は、20〜30代が少ない年齢構成の偏りを解消するため、若手を積極的に採用しており一時的に定数が増えています。10数年後には構成の均衡が保たれると判断しています。



《下呂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について》

（こども園で勤務する市保育士の勤

務条件を総合的に見直し、市保育士給与に関する当該条例の一部を改正するもの）

問 市直営のこども園と指定管理のこども園とで、職員の給与体系が一本化されたということか。

答 指定管理施設は福祉職給料表を基本としており、市直営のこども園においても、今回、同じ福祉職給料表に移行するものです。初任給がより高い福祉職の基準を適用することで、採用面での優位性を高め、人材の安定確保を図ります。

《下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について》

（子ども・子育て支援法等の改正、令和8年度分国民健康保険税の税率及び税額を改めることに伴い、当該条例の一部を改正するもの）

問 基金を活用した保険税の抑制についての考えは。

答 令和11年度までに県内の国民健康保険事業費納付金が統一化されることにより、基金を活用することで、今後の急激な保険税の増額が抑えられるものと見込んでいます。

委員会付託
案件の審査内容
を動画共有サービス
YouTubeにて視聴
できます。



民生教育まちづくり
常任委員会



総務産業建設
常任委員会

3月定例会 一般質問

これって、どうなってるの？

【市民に代わって 議員が市政を問う】

議員が市長をはじめとした執行部に対して、執行状況や将来の方針、課題や疑問点など行政全般について報告や説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

<p>加藤久人</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 谷沿倒木処理事業の現状と課題、今後の方向性 <input type="checkbox"/> 森林造成組合の必要性 <input type="checkbox"/> 森林経営管理制度に基づく取組状況	<p>下平裕次郎</p>	<input checked="" type="checkbox"/> オーガニックビレッジ宣言に向けた取り組み <input type="checkbox"/> DX推進による行政サービス向上と職員の業務移行
<p>桂川いずみ</p>	<input type="checkbox"/> 組織再編による市政運営の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 空き家対策の強化 <input type="checkbox"/> 湯めぐり館の市直営化に伴う今後の方向性	<p>桂川融己</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 公共施設の見直しに向けた取り組み
<p>森哲士</p>	<input type="checkbox"/> 下呂アートディスカバリー 2026 の今後の展開 <input type="checkbox"/> 組織再編に伴う今後の振興事務所のあり方 <input checked="" type="checkbox"/> 市内道路事業の進捗状況と今後の課題	<p>大西尚子</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 障がい者就労支援と親亡き後の安心を支える体制づくり <input type="checkbox"/> 子どもの健康教育 × 持続可能な下呂市
<p>高井範和</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 上下水道事業の持続可能な運営 <input type="checkbox"/> 消防団活動の今後の方向性	<p>田口琢弥</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 多文化共生への新たな施策 <input type="checkbox"/> 環境事業への取り組みと環境備品の活用
<p>鷺見昌己</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 交通空白地解消と新たな交通の創出 <input type="checkbox"/> 地域コミュニティの核となる多様な遊び場の創出	<p>尾里集務</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 農業の担い手確保 <input type="checkbox"/> バス停のあり方
<p>中島ゆき子</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭ごみの出し方 <input type="checkbox"/> 救急搬送に係る現状と課題	<p>今井政良</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 「上ヶ平サンビレッジ」の存続 <input type="checkbox"/> 市長公約実現に向けた新年度予算と組織再編
<p>田中喜登</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 森林づくりの現状と今後の課題 <input type="checkbox"/> 市内における民泊の現状と支援策	<input checked="" type="checkbox"/> チェックしてある項目を次ページ以降に掲載 議員の写真下の二次元コードから各議員の一般質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。	

災害を未然に防ぐ「谷沿いの倒木処理」の推進を



加藤久人
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 近年、局所的な集中豪雨の頻発など異常気象が常態化し、各地で山地災害が相次いでいる。特に、倒木の流出や土砂の堆積が河川および生活圏に及ぼす影響は大きく、谷沿いの倒木処理や治山施設の整備は、災害を未然に防ぐための喫緊の課題である。こうした状況を踏まえ、谷沿いの倒木処理を災害対策として明確に位置づけ、関係部局との連携を一層強化する考えは。

ら、全容把握に努めていきます。その上で、特に危険と判断される箇所については、危機管理課や建設課と緊密に情報共有を図り、適切な対応を検討いたします。

また、倒木のみならず、谷全体の状況を調査し、治山施設の整備等の必要性についても精査する必要があります。このため、現在把握している治山事業等が必要な箇所に、谷沿いの倒木箇所を加え、総合的な災害対策として推進していきます。

答 農林部長

林務課では、市内の倒木箇所を全て把握するに至っていないのが現状です。今後は、森林造成組合の協力を得なが



増加しつつある「空き家」への実効性ある対策を



桂川いずみ
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 少子高齢化により増加し続ける「空き家」への対策として、新設される「住宅対策課」はどのような役割を担い、解決に向けてどのように取り組む考えか。

答 総務部長

令和8年度の組織再編により、「住宅対策課」を新設し、住まいに関する課題に総合的に取り組む体制を整えます。「住宅対策課」では、空き家

対策だけでなく、市営住宅管理や住宅耐震化、建築指導、景観保全等に対応する技術系職員を配置し、より専門的な見地から対策を講じます。併せて、空き家バンクへの登録も推進し、移住定住促進担当と緊密な連携により、空き家

の有効活用へとつなげていきます。

今回の再編の大きなポイントとは、空き家対策の所管を、総合窓口や税を担う市民サービス課・税務課と同じ「市民生活部」に配置することです。これにより、窓口データや課税情報を部内でスムーズに共有でき、これまで以上に現状把握が容易となります。結果として、空き家問題に対し、より迅速かつ的確な対応に結びつくものと考えます。



命をつなぐ国道41号、雨量規制解消の早期実現を



もり
森

てつ
し
哲士
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 全国各地で自然災害が頻発しており、当市においても、近年は線状降水帯発生等により、甚大な被害を受けている。有事の際、迅速な救援活動を受け、市民の命を守るためには、市外からのアクセス道路の確保は不可欠である。このような背景を踏まえ、北部方面からの重要なルートである国道41号の雨量規制区間(高山市久々野町渚)の解消に向けた対策の現状は。

答 建設部長

国道41号の高山市久々野町渚、無数河区間の雨量規制の解消については、「飛騨地域基盤整備促進期成同盟会」を中心に、国等への働きかけを継続しています。

具体的には、国の予算編成の節目となる夏と秋の年2回、飛騨地域3市1村の首長が足並みを揃えて、岐阜県選出の国会議員や国土交通省、財務省、中部地方整備局、岐阜県等に対し、要望活動を実施しています。

残念ながら、現時点では国の事業化には至っていませんが、今後も早期実現に向け強力に要望を続けていきたいと考えています



▲国道41号久々野町無数河付近

上下水道事業の持続可能な運営に向けて

問 下水処理施設の更新費を削減するため、合併処理浄化槽への転換事業が進められているが、その進捗状況と費用削減効果は。また、合併処理浄化槽設置のメリットとデメリットは。

答 上下水道部長

小規模な下水道処理区を対象とした転換事業に係る地元説明会を開催してきましたが、住民の皆さまの十分な理解が得るに至らず、事業を中断している状況です。

一方で、一部の処理区では設備更新の時期が迫っているため、機械設備等の規模縮小による更新も検討しています。現在は、地域の実情に即した事業再構築のため、制度

設計の見直しも含めた持続可能な方策を検討している段階です。費用削減効果については、転換事業が進めば維持管理費や将来の設備更新費を抑制でき、計画している8つの処理区全体で年約5000万円の削減が可能と試算しています。

また、合併処理浄化槽設置については、使用量が少ない世帯で料金負担が増加する面があるものの、大規模災害時のリスクに強く、復旧も早い点が大きなメリットとして挙げられます。



たか
い
のり
かず
高井範和
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



誰もが多様な移動手段により社会参加できるまちへ



鷺見昌己 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 今後、交通空白地をどう解消していくのか。また、人口減少や高齢化が進む中、移動機会を創出する具体策は。

答 まちづくり推進部長

現在、デマンドバスのドアツードア運行により、交通空白地の解消を図っています。残る交通空白地である主要なバス停から離れた竹原地域や中心市街地周辺の住宅地に対しては、公共交通人口カバー率100%を目指し、まずは令和8年4月から竹原地域の御厩野・宮地の一部でデマンド交通を導入します。また、下呂・萩原地域の市街地周辺では、「福祉パスポート」や「福祉乗合タクシーまめなカー」等の福祉的な移動サービスを再編し、ドアツードアの近距離移動サービスの創設

を検討します。

答 市長

現行の「福祉パスポート」は、年額一括払いのため、割高感があると考えます。今後は、より多くの方に気軽に利用いただけるよう、1乗車当たり定額・低料金制への見直しも検討していく必要があると考えます。他自治体の成功事例も参考に、公共交通施策を総合的に推進していきます。



▲デマンド竹原

ごみ処理券等への記名廃止で安心できるごみ出しを

問 もえるごみ処理券や専用ごみ袋等に名前を記入することは、分別の責任を明確にするためとされている。しかし、一方で「プライバシー保護の観点から問題がある」との切実な指摘もある。市民の皆さまが安心してごみを出せるよう、現在の記名する運用について市の考えは。

答 環境部長

ごみ処理券等への記名は、「ごみの出し方ルール」が守られていない場合に、個別の指導や注意喚起を行う目的でお願いしているものです。一方で、プライバシーへの

配慮や個人情報保護の重要性が高まっていることも十分に認識しています。今後は、分別の徹底という「排出者責任の確保」と、市民の皆さまの「個人情報の保護」を両立させるため、他自治体の事例や、記名に代わる手法の可能性についても研究しつつ、総合的に検証を進めていきたいと考えています。



中島ゆき子 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



100年先へつなぐ、私たちの森づくり



田中喜登 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 市域の92%を占める森林は、私たちの暮らしと深く関わっている。近年、森林の多面的な機能が改めて注目される中、市は、「100年先を見据えた温故創新の森づくり」を掲げ、森づくり基本計画を策定した。この計画の柱の一つとなる主伐・再造林の現状と今後の課題は。

答 農林部長

戦後に植栽されたスギやヒノキが全国的に高齢化しており、国や県は森林の若返りと世代交代を目指して、主伐（伐採）と再造林（植林）を推進しています。

当市においても、樹齢50年から70年に達した人工林は約

1万9000ヘクタールにおよび、その約6割をスギ・ヒノキが占めている状況です。こうした背景から、令和6年度は市内約43ヘクタールにおいて主伐・再造林が実施されています。今後の取り組みとして、森林の健全な若返りを図るため、まずは市有林において主伐・再造林を推進していく方針です。併せて、民有林についても、林業事業者と緊密に協力しながら、着実な事業実施を呼びかけていきたいと考えています。



未来を拓く「オーガニックビレッジ宣言」に向けて



下平裕次郎 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 豊かな自然と下呂温泉を誇る本市において、「オーガニックビレッジ宣言」は、市の魅力をさらに高め、子どもたちの未来を切り拓く大きな第一歩になると考える。そこで、市長が思い描く下呂市らしいオーガニックの姿と今後の展望は。

答 市長

地域ぐるみで有機農業を推進し、持続可能なまちづくりを目指す「オーガニックビレッジ宣言」は、本市の魅力の一つである「食」の安全・安心を高めるために必要不可欠であると考えます。

今後の展望としましては、令和8年度中の宣言を目標に掲げていますが、長年、農地

を守り抜いてこられた熟練の農業生産者の方々に理解を深めていただき、どのように有機農業を進めていくか、これには丁寧に対話を重ねるための時間が必要であると認識しています。

そのため、2030年には全国200市町村の宣言を目指すという国の方針も踏まえつつ、農業生産者の皆さまはもちろん、関係各位と協議を重ねながら、着実に取り組んでいきたいと考えています。



未来のまちを見据えた公共施設の見直し

問 公共施設の見直しの必要性和、今後の具体的な進め方は。

答 まちづくり推進部長
公共施設の見直しは、将来にわたって必要なサービスを維持していくために欠かせない取り組みです。本市では人口が減る中でも多くの施設を維持しており、維持や更新に必要な費用に対して、年間約12億円の財源不足が見込まれています。今年度は外部有識者を交えた研究会も開催し、今後のあり方について検討を進めてきました。このため、2040年までに施設面積を約40%削減する目標のもと、見直しを進めます。令和8年度までにデータを整備し、市民との対話を重ねながら検討していきます。



桂川融己 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



ます。

答 市長

公共施設の見直しは、片手間でできるものではなく、一定の体制のもとで進めていく必要があります。また、地域ごとの考え方や実情を尊重し、地域の維持や活性化とのバランスを図りながら、地域単位での検討を基本として進めていきます。いづれにしても、市民との対話を重ねながら、覚悟を持って取り組んでいきます。



住み慣れた地域で安心して暮し続けられるために

問 障がいのある方のご家族の多くが抱える「親なき後」への強い不安に寄り添う、市としての支援体制と今後の方向性は。

答 福祉部長

障がいのある方のご家族が抱える「親なき後」への不安は、重要な課題であると認識しています。本市では「下呂市障がい者自立支援協議会」を組織し、相談支援・サービス事業者、利用者、行政、教育などの関係機関が緊密に連携する体制を構築しています。具体的には、就労・くらし・児童・地域生活支援拠点などの専門部会を年3回から4回、相談支援事業所連携会議を月1回という高い頻度で開催しています。こうした場を通じて、一つの機関では解決が困難なケースの対応策を協議するほか、家族向け研修を実施するなど、きめ細かな支援に取り組んでいます。今後もこの「顔の見える関係」を保ちながら、親なき後の課題も含め、障がいのある方とそのご家族が、住み慣れた地域で将来にわたり安心して暮らし続けられる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。



大西尚子 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



国籍を問わず、誰もが輝く切れ目ない支援を



田口 琢弥 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 当市の外国籍住民は、令和8年3月現在で1080人に達し、この10年間で3倍以上に急増している。令和6年度には出生児の約1割を外国籍の子が占めるなど、多文化共生が進む今、あらゆる世代へ「切れ目のないライフステージ支援」を行うことは不可欠と考えるが、各世代への支援の現状と今後の展望は。

答 地域振興部長

近年、観光業等に従事する在留資格を持つ方が、配偶者と共に転入し出産するケースが増えています。そのため、多文化共生担当課と庁内関係課が密に連携し、こども園から小中学校までの各段階での支援等に加え、入園前からの関係づくりに取り組んでいます。



▲日本語交流サロンでの一コマ

また、市民と外国籍住民が「やさしい日本語」で交流するサロンも開催しています。今後は、令和8年度に策定予定の「第2期下呂市多文化共生推進方針」において、生活・教育・就労等の各段階における課題を改めて精査し、市役所全体で切れ目のない対応策を構築していく考えです。

地域の農業を確実に次世代へつなぐために



尾里 集務 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 近年、全国的に農業の後継者不足が深刻化している。農業従事者の高齢化も加速しており、若手への世代交代が困難な状況にある。こうした背景を踏まえ、新規就農の促進をはじめとする次世代の担い手確保に向けた取組状況と今後の方策は。

答 農林部長

当市では新規就農者の確保に注力しており、平成23年度から令和7年度までに57名を受け入れました。うち30名が市外からの転入で、移住促進にも貢献しています。具体的な支援として、研修生住宅を最長2年間、低額で貸与しています。家電完備の住宅提供により生活費を抑え、就農に

向けた自己資金の確保を後押ししており、これが就農地として選ばれる大きな要因になっています。併せて、国県の補助制度を活用して、就農準備や経営開始への金銭的支援も行っています。また、食の安全安心への関心の高まりを受け、来年度の「オーガニックビレッジ宣言」を目指します。これを機に、市民の皆さまが農業に興味を持ち、将来の担い手確保につながるよう取り組んでいきます。

民間活力によるプールの存続と健康づくりの推進を



いま
井 政 良
よし
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 老朽化に伴い令和10年3月末をもって指定管理者による運営を終了予定の「上ヶ平サンビレッジ」に係る民間提案（サウンディング型市場調査）の状況とそれを踏まえての今後の進め方は。

答 まちづくり推進部長

令和6年11月に調査を開始し、12月26日までに2社から「民間資金による健康づくり事業」の提案がありました。今後は、この提案を精査し、速やかに施設活用事業者の公募要項等の作成を行い、利用者の皆さまとの対話を重ねながら、令和8年度中の事業者決定を目指します。

答 市長

プールを残さないという選択はなかなか厳しいという思いは持っており、民間事業者の方々にもそういう思いもきっかけに伝えたくて、民間資金を活用した提案をいただいているということをご理解ください。プールを維持できる形での事業化に向け、職員一丸となって努力し、利用者の皆さまとしっかりと語り合って進めていきたいと考えています。



▲上ヶ平サンビレッジ

下呂温泉街整備特別委員会

3月18日、下呂温泉街整備特別委員会を開催し、下呂駅周辺エリアの整備について協議を行いました。執行部から、旧下呂温泉病院跡地の活用に関するアンケート結果や現時点での全体構想案、今後の基本計画策定方針とスケジュールが示されました。委員からは、学生の送迎エリアの確保や駅周辺の渋滞対策、歩行者の安全確保についての意見が出され、執行部から、令和8年度の基本計画策定に向けてさらに論点を整理していくとの答弁がありました。

濃飛横断道・リニア特別委員会

本市、中津川市、郡上市、東白川村の三市一村議会で合同会議を組織し、濃飛横断自動車道の早期全線開通に向け連携しています。

今年1月には

国への要望活動を行い、国土交通省からは、自治体間の連携を評価されることにも、未事業化区間の予算確保や早期完成に向けた前向きな言葉をいただきました。



▲国土交通省大臣政務官との要面談

民生教育まちづくり常任委員会 管外視察

令和8年1月29日、民生教育まちづくり常任委員会は、本市の地域医療体制について考えるため、中部国際医療センター（美濃加茂市）と多治見市民病院（多治見市）を視察しました。

中部国際医療センターでは、救急対応の現状などを伺いました。金山地域からの救急搬送には南側に位置する医療機関との連携が有効であると再確認したほか、災害時に備えドクターヘリの実用的な運用ルールづくりの必要性を学びました。

多治見市民病院では、指定管理者制度による病院運営について伺いました。経営の継続性と責任体制を明確にすること、そして若手医師が集まる「教育病院」としての環境づくりが、医師確保に直結することを改めて認識しました。

今回の視察で得た知見を活かし、将来にわたって安心できる医療体制の構築に向け、さらに協議を進めていきます。



『議会への意見・提案箱』へのご意見等と対応状況をお伝えします

下呂市議会では、市民の皆さまから幅広いご意見やご提案を直接お届けいただく仕組みとして、「議会への意見・提案箱」を設置しています。寄せられたご意見等を関係する委員会に引継ぎ、それぞれの委員会が調査研究などに取り組んでいます。令和8年3月までに寄せられたご意見等と各委員会での対応状況をご紹介します。

市民 … 市民の皆さまからのご意見・ご提案

委員会 … 委員会での対応

民生教育まちづくり常任委員会

- **窓口DX** ……………
- 市民 振興事務所や竹原出張所等にリモート窓口を導入し、利便性向上と事務の効率化を提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。
- **まちづくり** ……………
- 市民 サンビレッジのプールを令和8年度以降も子どもの発達のために継続を提案します。
- 委員会 上ヶ平サンビレッジについて、担当部局から現在の状況等を聴取しました。
- 市民 ケアハウス入所者の通院・外出支援のため、デマンドバス運行を提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。
- 下呂市出身者 宿泊税増額を財源に、空き家活用と交通網整備で下呂市の観光振興を提案します。
- 委員会 今後の政策検討や提言等の参考にさせていただきます。
- 市民 生殖補助医療の通院費助成を、採卵に至らない場合も対象とするよう提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。

総務産業建設常任委員会

- **観光産業** ……………
- 市民 移住支援や観光政策の閉鎖性を指摘し、多様な産業育成と情報発信の改善を求める意見。
- 委員会 今後の政策検討や提言等の参考にさせていただきます。
- **生活支援** ……………
- 市民 若年公務員の低賃金による離職を防ぐため、給与水準の改善を提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。
- **道路整備** ……………
- 市民 歩行者と外国人住民のため、旧下呂温泉病院跡地の栄町通りに横断歩道の設置を提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。
- 市民 下呂駅駐輪場の乗り入れ段差を解消し、高齢者等も利用しやすい改善を提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。
- 市民 道路整備や交通網の充実は、若者の定住や観光の安全、地域の魅力向上に不可欠です。
- 委員会 今後の政策検討や提言等の参考にさせていただきます。
- 市民 名古屋からの利便性向上のため、高速やバイパスの整備の提案します。
- 委員会 市担当部局と情報共有を行いました。
- **農林環境** ……………
- 市民 森林整備や草刈に対する意見。
- 委員会 地域の環境維持に向けた一歩を後押しするため、令和8年度より「刈払い機安全講習」などが新設されます。こうした初心者向けメニューも用意されていますので、ぜひご活用ください。

お寄せいただいたご意見等は、紙面の都合上、抜粋・要約して掲載していますのでご理解をお願いいたします。引き続き調査研究に取り組みながら、市民の皆さまからの貴重な声を、政策提言等へ着実に反映できるよう努めていきます。

「げろ議会だより」アンケート

「読みたくなる議会だより」とするため、皆さんの声をお聞かせください。右の二次元コードを読み取り、アンケートに回答をお願いします。



インターネットライブ配信

本会議および常任委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(YouTube)にてライブ配信を行っています。過去の配信動画は、下呂市ホームページにて視聴できます。



令和8年度 組織再編に伴う常任委員会名称変更のお知らせ

市役所の組織再編に合わせ、令和8年4月30日から、2つの常任委員会の名称が以下のとおり変更となります。

<p>(新名称) くらし・人づくり常任委員会</p> <p>(旧名称) 民生教育まちづくり常任委員会</p>	<p>(新名称) まち・基盤づくり常任委員会</p> <p>(旧名称) 総務産業建設常任委員会</p>
---	--

議会基本条例の達成状況を検証しました

下呂市議会は、議会が果たすべき役割と責任を自覚し、市民福祉の向上に全力で取り組むことを決意して、令和3年に「下呂市議会基本条例」を制定いたしました。

本条例の第27条には、条例の運用状況を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行うことが定められています。これに基づき、令和7年度における各条項の達成状況について検証を行い、このたび、その結果と評価を取りまとめましたのでお知らせいたします。

- *議会基本条例は、制定して終わりではなく、その成果や課題を検証して、さらにレベルアップした条例へと改正していくことが、議会活動の質の向上にとってとても重要です。そのためにも、この検証の取り組みを継続していきます。
- *すべての条項に係る検証結果・評価は、下呂市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

詳細は
下呂市HPを
ご覧ください



【主な検証結果・評価】

《評価の段階：A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、-「対象外」》

条 項	主 な 取 組 状 況	今 後 の 対 策 等	評 価
第5条	○本会議のケーブルテレビ放送・インターネット配信、常任委員会における付託案件審査状況のインターネット配信 ○各種団体との「出前座談会」およびワークショップ形式による市民との意見交換会「議会カフェ」の開催	議会活動の透明性を高めるため、すべての委員会の内容を容易に知ることができるよう検討を進めます。	B
		市民の皆さまとの意見交換会については、幅広い年代の参加を促す工夫やテーマを絞った開催など、より効果的な広聴活動となるよう、さらなる検討を進めます。	B
第6条	○読みたくなる「議会だより」を目指した分かりやすい紙面づくり ○各委員会における活動方針をケーブルテレビで放送、インターネットによる配信	市民の皆さまにとって、開かれた、より身近な議会を目指し、ホームページをはじめとする各種媒体による情報発信の充実に継続して取り組みます。	B
第8条	○常任委員会ごとで調整した市政の課題に対する提言書を議会として市長に提出	執行部と政策競争をする議会を目指し、さらなる議員の意識改革と資質向上、継続的な議論が可能な議会体制の構築に向け取り組みます。	B
第10条	○一問一答方式による一般質問を試行運用	論点や争点を明確にし、市民に分かりやすい議論の場とするため、令和8年6月定例会から「一問一答方式」の本運用を目指します。そのため、試行段階の検証を行い、必要な改善に取り組みます。	B
第23条	○現行「議会議員政治倫理規程」の見直しに向けた検討	市民全体の代表者として、より高い政治倫理を確立するため、現行の規程を条例へ格上げすることや、ハラスメント防止の観点を追加することなど、必要な見直しを行います。	B

編 集 後 記

3月定例会では、新年度予算をはじめ暮らしに直結する大切な議論が行われました。本号では、その要点を2～3頁で特集しています。「これってどうなるの?」と気になる事業があれば、ぜひお近くの議員へ気軽にお声掛けください。

令和7年度の議会は「伝える・聴く」の向上に全力で取り組んできました。一般質問での一問一答方式の導入や議会カフェの開催、映像で各委員会活動方針を発信するなど、新しい試みも始めました。

座談会の開催数など課題も残りましたが、「市民に寄り添い、分かりやすく伝える議会」を目指し、令和8年度も改善を積み重ねていきます。

6月定例会会期日程(予定)

6月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。なお、一般質問などの内容は新聞折込および下呂市メールでお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
6月 5日	金	本会議(初日)	午前9時30分～
18日	木	本会議(一般質問)	
19日	金	本会議(一般質問)	
22日	月	常任委員会	
23日	火	常任委員会	
24日	水	予算決算常任委員会(予算関係)	
26日	金	本会議(最終日)	

※日程は変更になる 場合もあります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3-1会議室)